

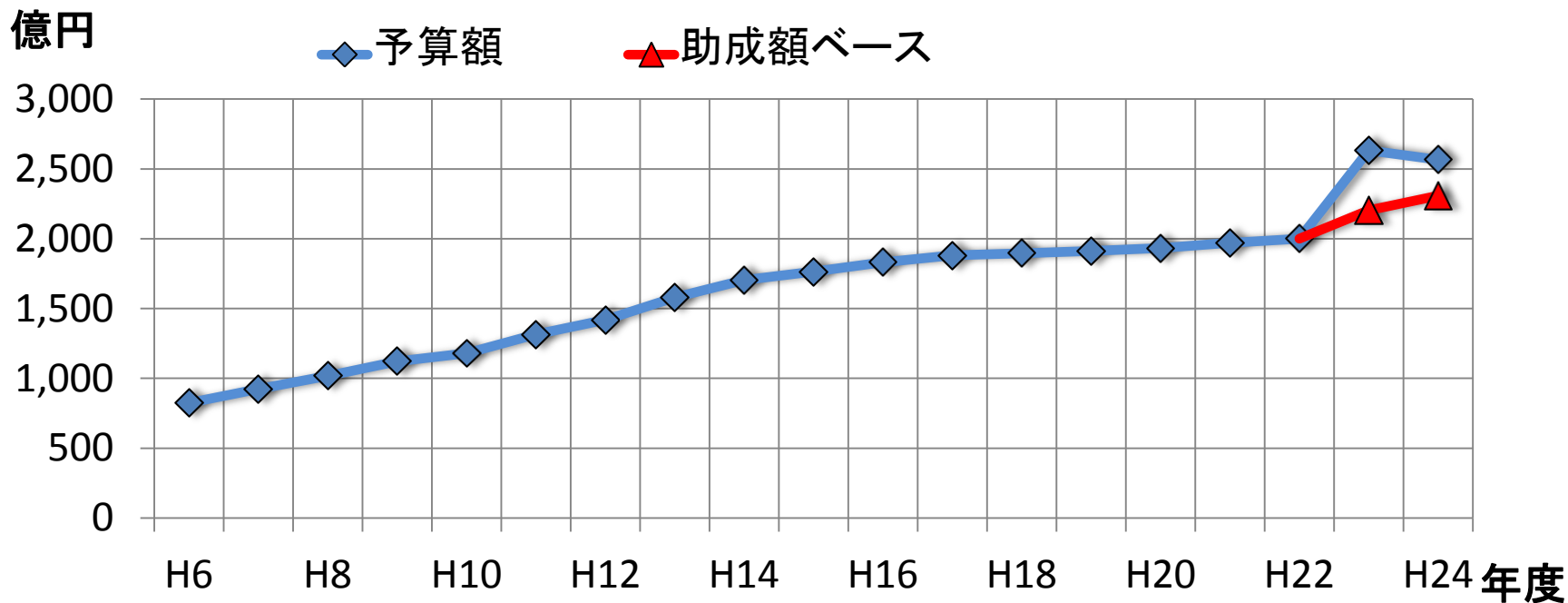
H25科研費の獲得に向けて

1. H24予算「予算額」と「助成額」
2. 理大の現状
3. 採択率をUPするために
4. 応募者のメリット
5. 適正な運用について
6. 応募に向けたスケジュール

平成24年7月19日 教授会(4学部)
学外連携推進室

平成24年度 科研費予算

1. H24予算



H24予算額: 2,566億円(※)
(H23予算額: 2,633億円)

H24助成額: 2,307億円(※)
(H23助成額: 2,204億円)

※H23年度～「基金化」導入。「予算額」≠「助成額」

「予算額」 基金分の翌年度以降(複数年)を含む額

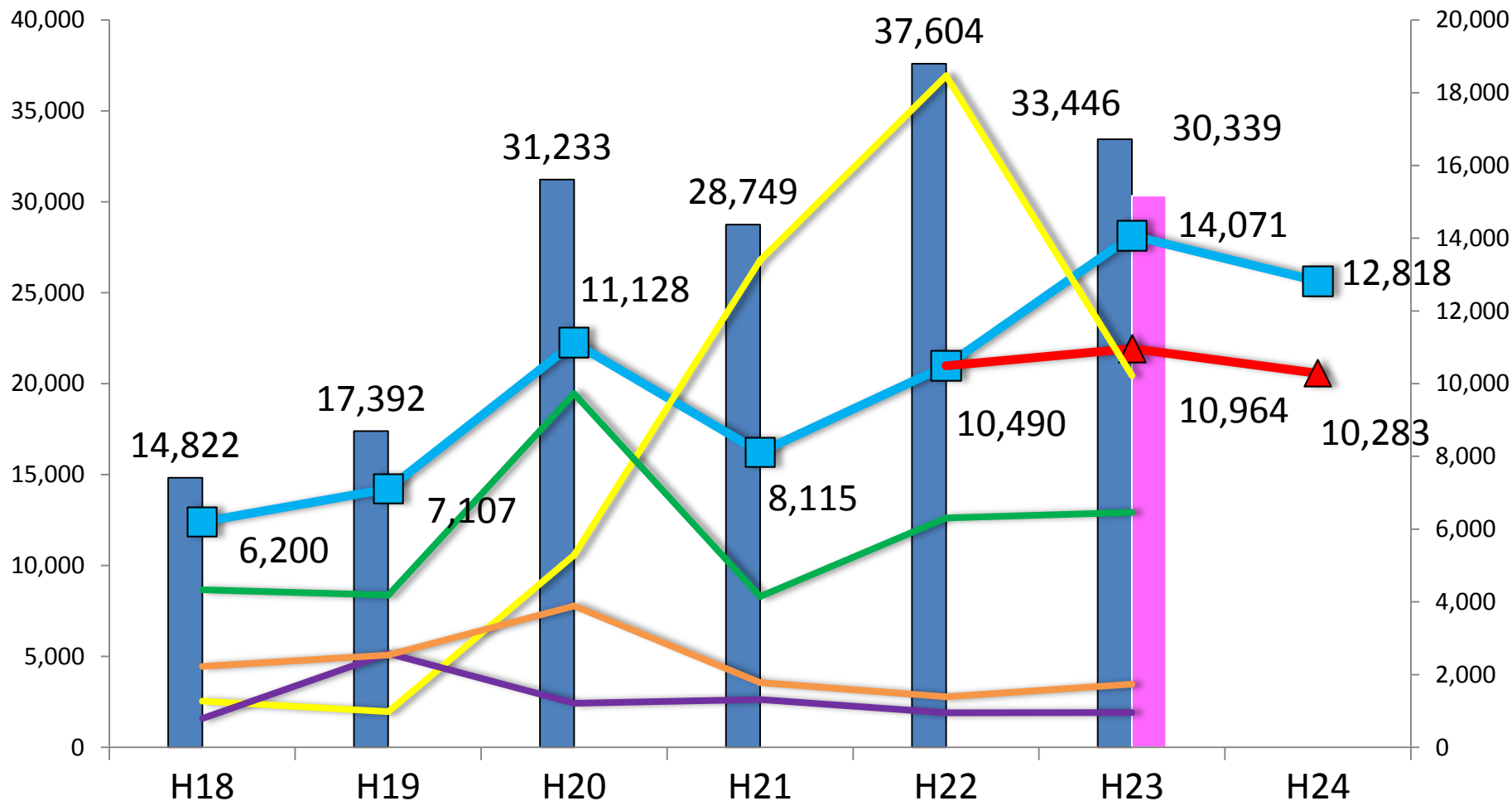
「助成額」 基金分を単年度で見た額

外部資金の獲得状況

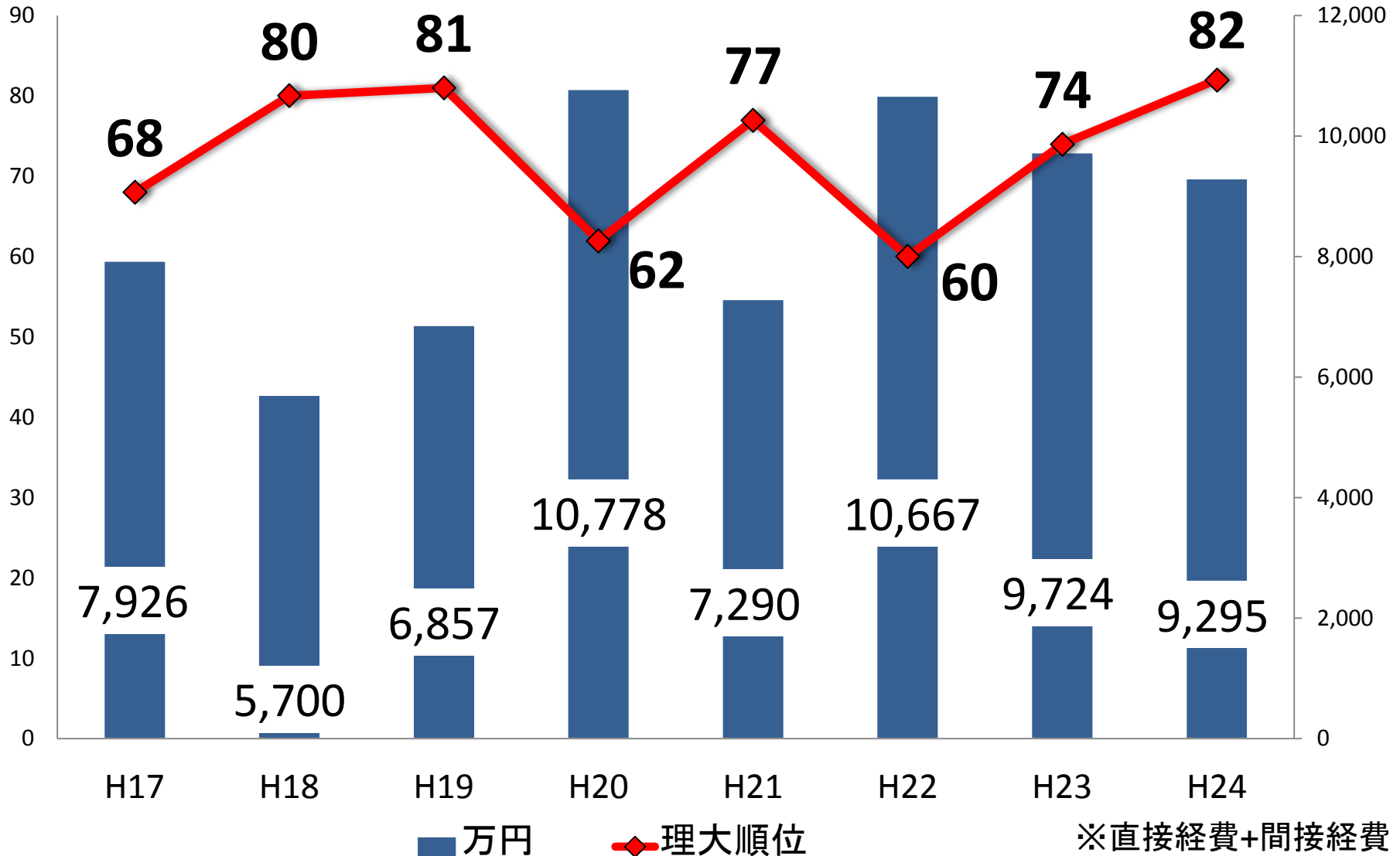
2. 理大の現状

単位: 万円

- 外部資金計1
- ▲ 科研費(助成額)
- 外部資金計2
- 助成金
- 科研費(予算額)
- 受託研究
- 共同研究
- 寄付金



全国私大 配分額※ランキング (新規+継続)



所属別 応募率 (新規+継続)

大学教員応募率(※1) 計: 63.5%

国立: 105.0% 公立: 76.3% 私立: 36.1%

理大(※2)	理	工	総情	生地	附属 施設等	計
教員数	106	101	33	15	26	281
応募件数	46	63	11	5	6	131
昨年応募率(%)	50.5	62.1	31.3	—	25.0	48.9
H24応募率(%)	43.4	62.4	33.3	33.3	23.1	46.6

理大は、全国平均の私立と比べ多いが、国公立を含めた全体で見ると少ない。

※1: 「平成23年度学校基本調査」の人数による。
※2: 教員組織表(学内)用をベースとしている。

種目別 新規のみ 採択率

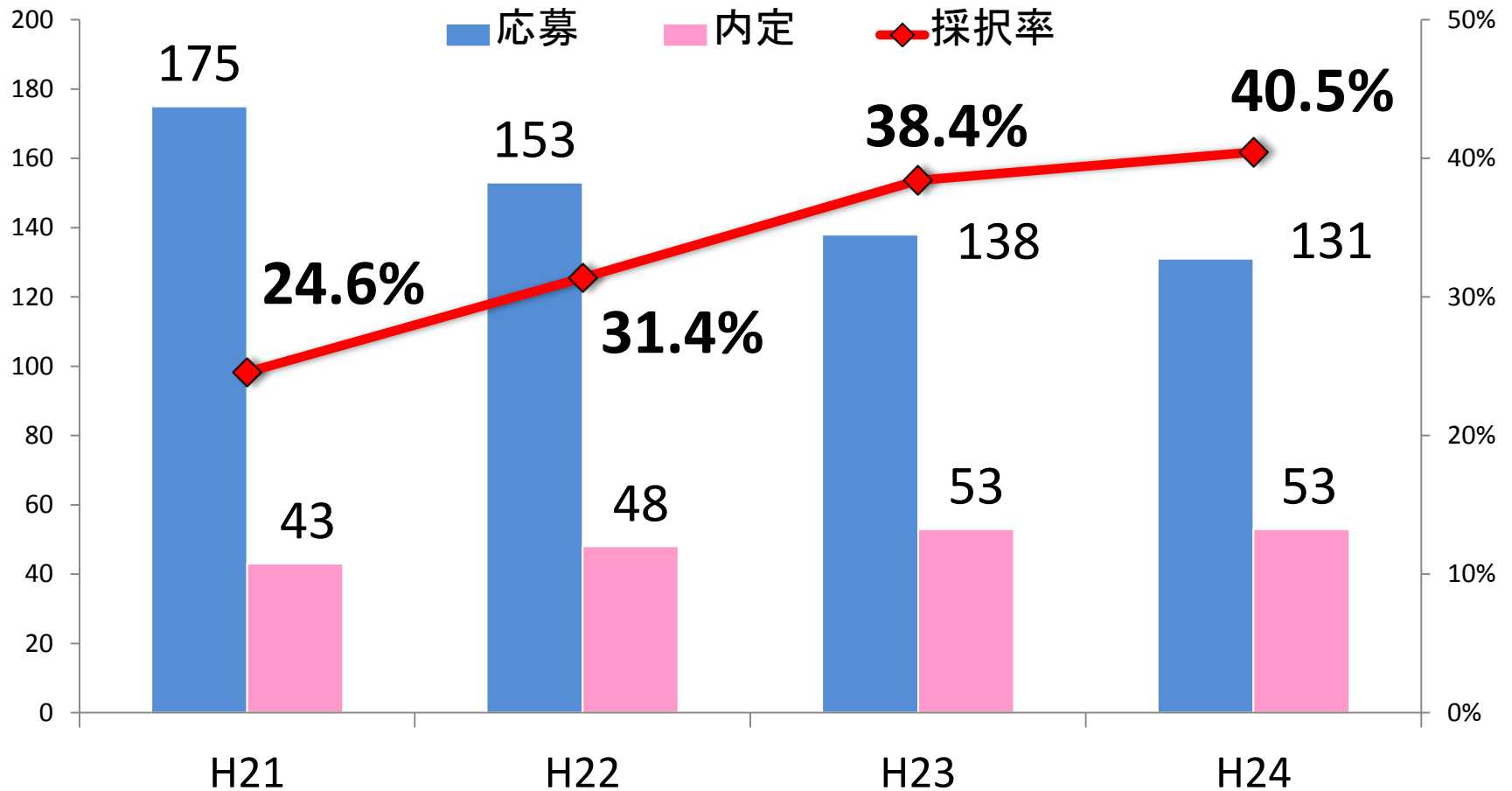
2. 理大の現状

	応募数	内定数	採択率(%)		全国採択率(%)	
			昨年	H24	昨年	H24
新学術	4	1	<u>0</u>	<u>25.0</u>	22.6	25.2
基盤A	1	0	0	0	25.9	23.8
基盤B	6	1	15.4	16.7	25.6	24.7
基盤C	60	9	16.1	<u>15.0</u>	29.9	<u>30.0</u>
挑戦的萌芽	12	3	<u>10.0</u>	<u>25.0</u>	29.9	29.9
若手A	2	0	0	0	24.1	22.2
若手B	11	1	<u>25.0</u>	<u>9.1</u>	29.9	30.0
スタート支援	1	—	0	—	25.4	—
全体	97	15	15.7	15.5	28.1	28.4

(H24.6現在)

「新学術」「萌芽」上昇。「若手B」減少。「基盤C」全国の半分。

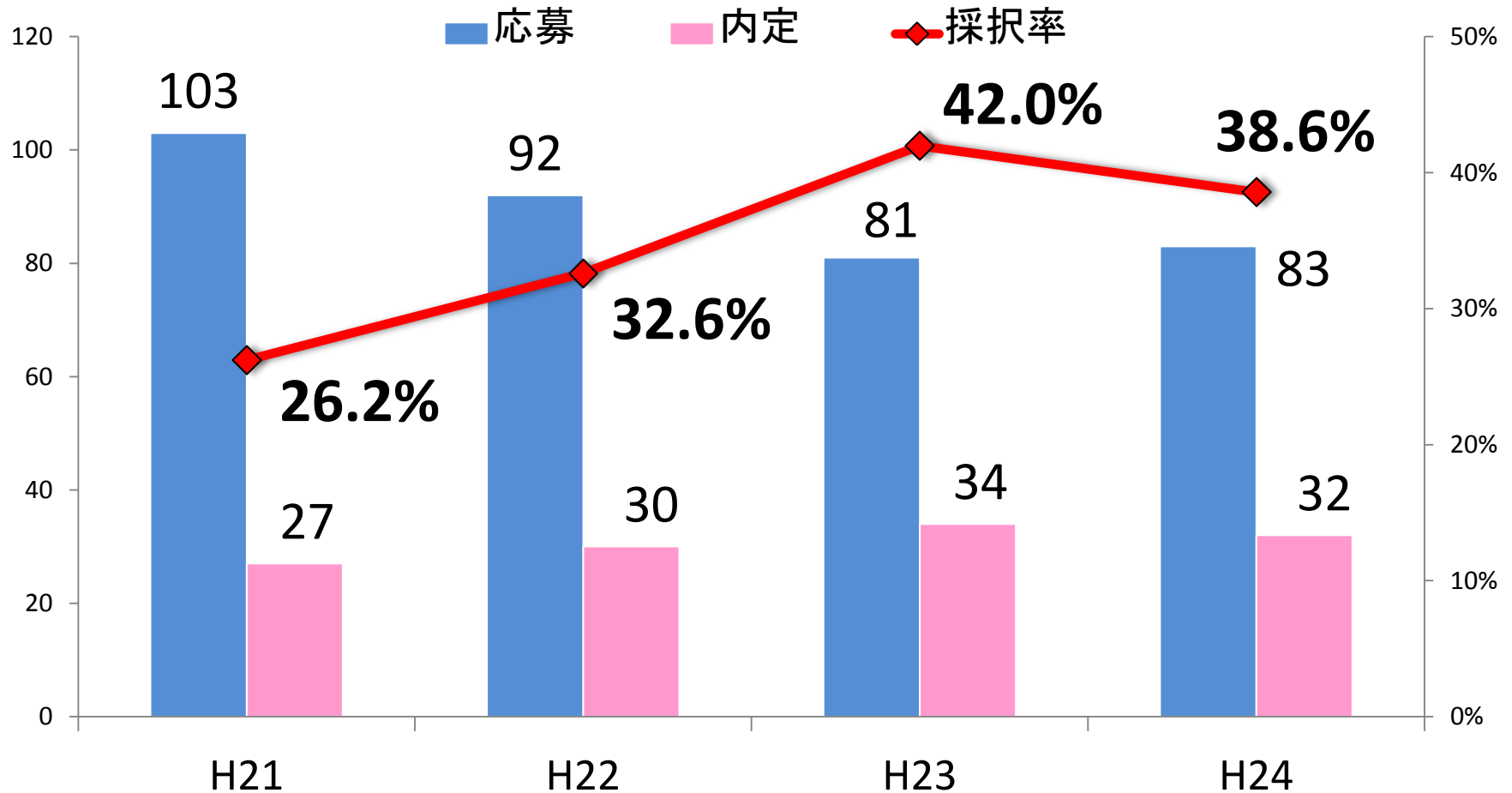
応募・採択率 (新規+継続)



「採択率」 理大: 40.5% 全国平均: 52.1% (昨年: 49.7%)

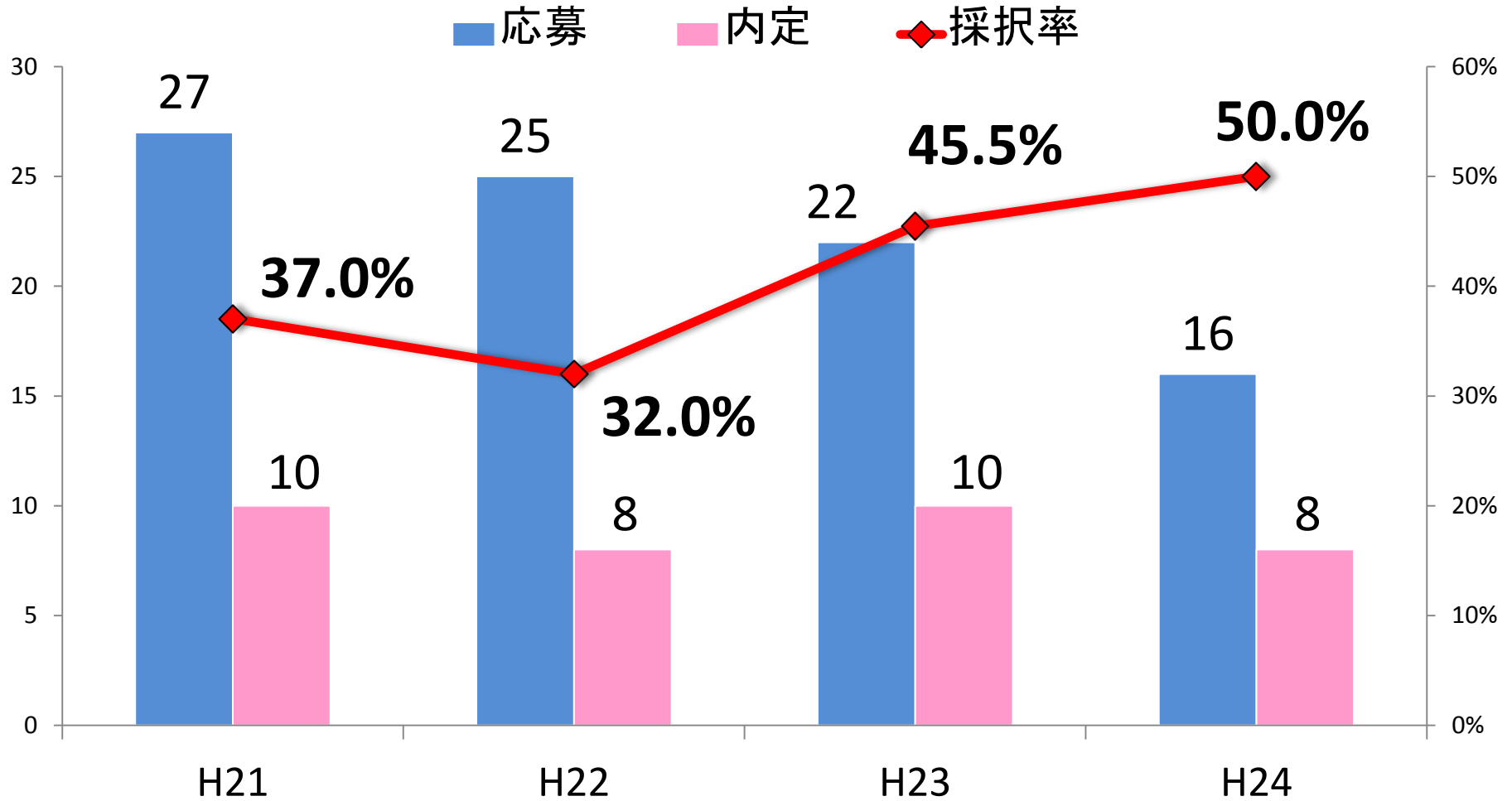
「対前年比」 理大: 2.1%UP 全国平均: 2.4%UP

基盤(C) 応募・採択率 (新規+継続)



「採択率」 理大: 38.6% 全国平均: 55.0% (昨年: 53.6%)

若手(B) 応募・採択率 (新規+継続)



「採択率」 理大:50.0% 全国平均:51.5%(昨年:49.0%)

学科別 応募率ランキング (新規+継続)

順位	学科	教員数(※)	応募数	応募率(%)
1	生体	12	13	108
2	知能	13	11	85
3	建築	13	9	69
4	応化	17	11	65
5	臨床	14	9	64
6	化学	15	8	53
7	情工	16	8	50
	情処セ	2	1	50
9	生化	15	7	47
10	応物	16	7	44

※教員組織表(学内)用をベースとしている。

学科別 採択率ランキング (新規+継続)

順位	学科	教員数(※)	採択数	採択率(%)
1	知能	13	7	54
2	情処セ	2	1	50
3	応数	18	7	39
4	生地	17	6	35
5	機械	15	5	33
6	建築	13	4	31
7	生体	12	3	25
8	応化	17	4	24
9	社情	15	3	20
10	基理	17	3	18

※教員組織表(学内)用をベースとしている。

学科別 獲得金額ランキング (新規+継続)

順位	学科	教員数(※)	獲得額(万円)	1人あたり(万円)
1	知能	13	1,365	105
2	情処セ	2	208	104
3	機械	15	1,417	94.5
4	生地	17	1,352	79.5
5	応化	17	1,183	69.6
6	生体	12	598	49.8
7	応数	18	845	46.9
8	社情	15	637	42.5
9	建築	13	546	42
10	基理	17	702	41.3

※教員組織表(学内)用をベースとしている。

採択率をUPするために

■ 目標1. 応募件数増加。

目安: 国立105% 公立76%

→ 生体108%(1人1件以上)【理大平均: 47%】

■ 目標2. 採択率の高い種目へ応募。

目安: 採択率30%(基盤C、若手B、萌芽)

→ 理大(基盤C: H23(16%)、H24(15%))

まだまだ伸びる余地あり!

■ 目標3. グループによる大型(基盤A,B)への応募。

採択率をUPするために

目的: 研究計画調書作成サポート。

→ 研究遂行力、研究費用の妥当性等

- 1. 作成時にアドバイザー紹介、添削。
- 2. 過去に採択された計画調書HP公開。
- 3. 実績のある教員の講演(9月末予定)

採択率をUPするために

分野別 配分額合計の配分率(※):

人文・社会系 **13%** 理工系38%、生物系47%、その他3%

→ 理工系、生物系に比べ、人文・社会系の場合、比較的少額の研究計画が多く採択されている。

→ 理大の基盤A、基盤B海外は人文系で獲得。

理大の人文・社会系は総額の**15%**を獲得中。

※文科省全国データより

応募者のメリット

■ 科研費応募を奨励するため、全体で500万円の奨励金を用意しています。

1. 若手教員研究奨励金 200万円

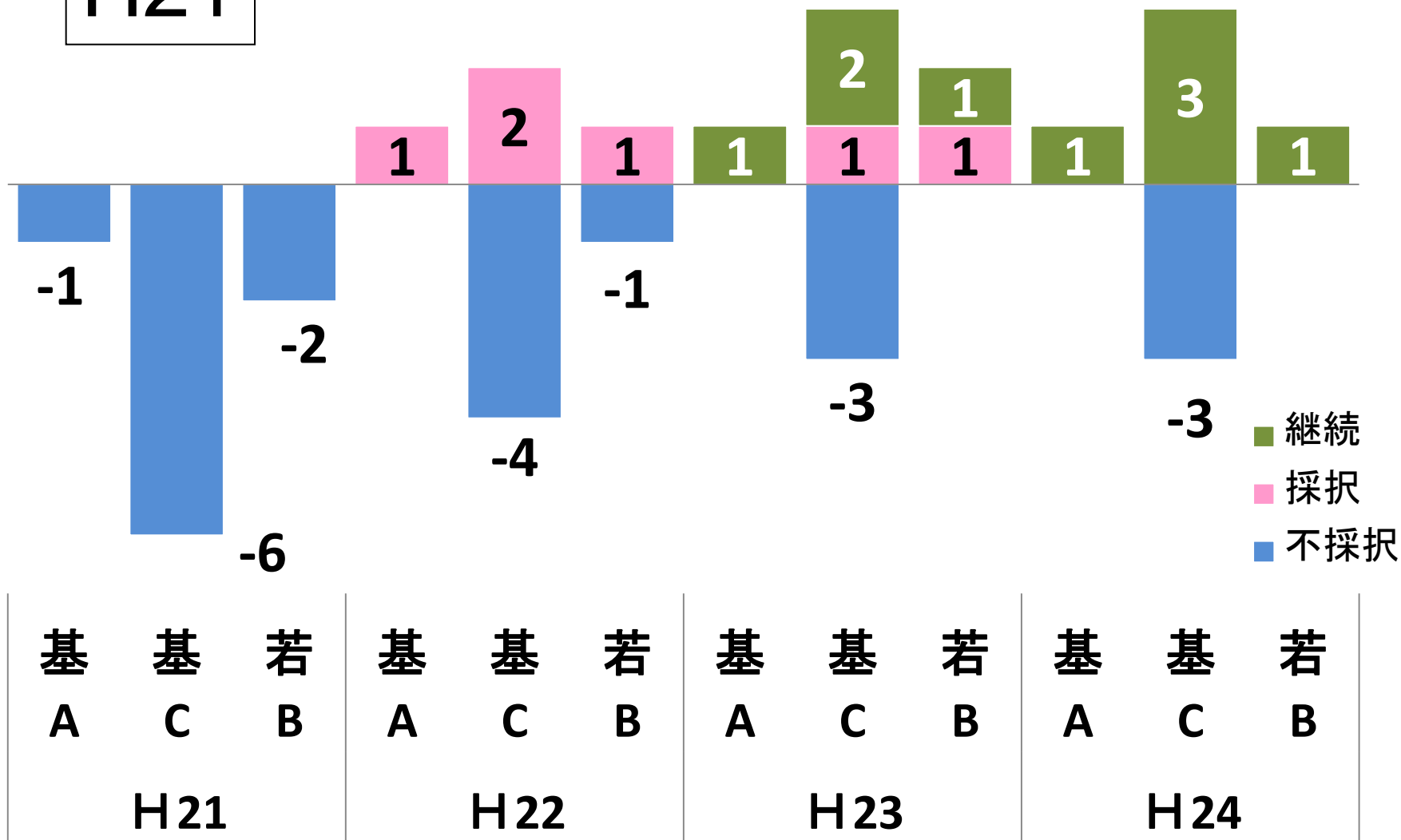
採択された准教授以下に応募額と獲得額の差額を按分して補填。

2. 申請奨励金 300万円

不採択でも審査結果の順位が「A」ランクの方に按分して配分。不採択「A」ランクの方は、翌年度採択の可能性がある。

種目別 不採択「A」 動向

H21



■ 継続
■ 採択
■ 不採択

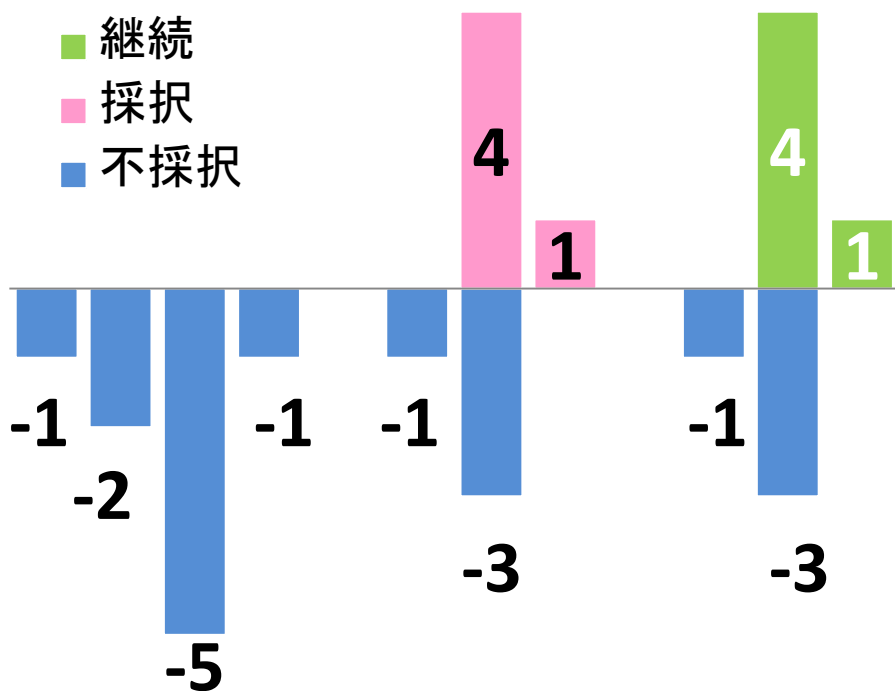
種目別 不採択「A」 動向

4. 応募者メリット

H22

「特定領域」及び「基盤B」の不採択1名ずつが、H23「基盤C」に鞍替えしたら採択された

■ 継続
■ 採択
■ 不採択



特定 基盤B 基盤C 若芽 特定 基盤B 基盤C 若芽 特定 基盤B 基盤C 若芽

H22

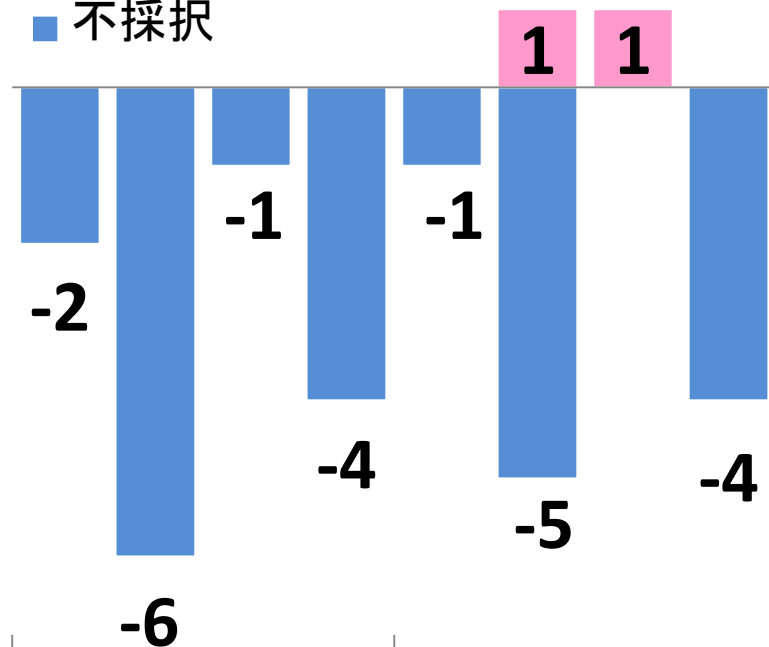
H23

H24

H23

「基盤B」の不採択1名が、H24「基盤C」に鞍替えしたら採択された

■ 採択
■ 不採択



基盤B 基盤C 萌芽 若芽 基盤B 基盤C 萌芽 若芽

H23

H24

適正使用・監査の義務化

■ 科研費の内部監査の義務化

＝税金「最小の経費で最大の効果を」

→ 科研費は、科研費事業に計画的に使用。

→ 物品検収は事務局が行います。

■ 白書とHPにガイドライン掲載

■ 最近の不正行為：山口大、東大、阪大

例：業者が預り金として管理。カラ出張。

水増出張等。

■ 利益相反の観点から、研究協力者には

「身内」の採用は避けて欲しい。

応募に向けたスケジュール

1) 例年9月1日 公募開始

■学内応募説明会(ベテラン教員講演)

※添削相談は9月末×切(学外連携へ)

※様式等はHPに掲載予定

2)学内×切 10月19日頃予定

3)翌年4月頭 内定通知あり

ご清聴ありがとうございました。

ご相談は、学外連携推進室まで
1学舎1階(学長室隣)